

平成 28 年度事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人地域開発研究所

平成 28 年度事業報告

自 平成 28 年 4 月 1 日
至 平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人地域開発研究所

1. 事業の経過及びその成果

(1) 奨学金給与事業

奨学金給与事業について、今年度は 2 名の大学生から応募がありました。1 名は大学 4 年間当財団の奨学金を支給していた北海道大学工学部の学生、もう 1 名はお茶の水女子大学理学部の学生で、両者とも既に大学院合格が決まっていました。今年度行った理事・監事会において、奨学金支給の対象者を理学部・工学部系の進学を希望する学生のみ、運用面を考慮して対応することに決定したため、その点を考慮して審議が行われた結果、北海道大学工学部の学生については、工学系専攻であり、かつ、奨学生応募・採用基準に準拠していることから、採用することに決定しました。お茶の水女子大学の学生については、理学系専攻であることの確認、進路についての確認が必要と判断され、面接を行ってから決定することになりましたが、後日面接を行い審議した結果、採用することに決定しました。来年度から新たに 2 名の奨学金支給者に対し、支援を行っていきます。

今後も引き続きホームページや文書等で募集を行いながら、地元以外の地域に対しても周知してもらい、より申込みやすい形態にしていくことを検討しています。

(2) 地域開発事業

地域開発事業について、12 月 3 日に田名部まちづくり株式会社（都市再生推進法人）主催の「むつ下北まちづくりフォーラム」を開催するにあたり、パンフレット・ポスター作成に対する支援を行いました。市民、事業者、行政が共に将来どのような街・地域にしていくのかを考える活動で、地域開発に貢献できるものと判断しました。

また、下北原子力勉強会設立記念講演ポスターのデザイン作成に対する支援を行いました。今後も、下北原子力勉強会の活動のみならず、原子力の勉強会に関わる様々な事業に対し、引き続き支援を行っていく予定です。

さらに、地場産業品としてサフランを商品化する事業について、前年度に引き続き、今後も継続して支援を行っていく予定です。事業者は、最大の生産地である竹田市とタイアップして活動し、地元産サフランのブランド化を目指す計画であるとのことでした。今後の活動としては、株分け作業を行

ったサフランを使って花芯を取り、その花芯を用いて商品化を目指すとのことです。

それから、青森県立美術館の美術館活動への支援を強化する目的として設立された「サポートシップ倶楽部」の活動に対し支援を行いました。

(3) 調査研究事業

調査研究事業について、明治時代から戦後までの大湊開港についての研究に対し、平成 25 年度から助成を開始しました。今後も引き続き、大湊開港についての研究に対し支援を行っていきます。

また、地域おこしの専門誌である全国誌「月刊コロンブス」を毎月購入し、むつ市立図書館、むつ市、県、地域おこしに関係する団体等へ配布するなどの事業を、今年度も継続して行いました。

(4) 自然保護事業

自然保護事業について、今年度はNPO法人GEMBUの「平成 28 年度赤川海岸整備事業」に対し、助成金を交付し、支援を行いました。むつ市赤川海岸の定期海岸ゴミ清掃と、ハマナス植樹による海岸整備を目的とした活動で、付近の町内会や地元小中学生、学校関係者等の協力を得ながら海岸の美化・整備を行っています。海岸のゴミを取り除くことで自然保護に繋がること、また、ハマナス植樹をしながらハマナスの商品化についても開発・研究を行っており、地域貢献・地域活性化の観点から見ても、非常に意義のある活動であると評価をし、支援を行った次第です。

今後も、様々な分野の研究・開発、自然保護活動、地域貢献活動を行っている個人や団体に対して、支援・助成を行っていきます。

2. 公益事業ごとの事業活動

公益目的事業1 奨学金給与事業

(1) 奨学生の人員及び奨学金

平成 28 年度奨学生として採用が決定した 5 名と、平成 25 年からの継続者と合わせて、16 名に 4 月より奨学金を支給しました。

(一人当たり 大学生：月額 40,000 円 大学院生：月額 50,000 円)

【大学生】①奨学生 11 名 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月の 1 年間)

②奨学生 4 名 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 2 月の 11 ヶ月)

※4 年生については、3 月卒業の為、支給は 2 月まで。

一人当たり年額 ①480,000 円

②440,000 円

【大学院生】奨学生1名（平成28年4月～平成29年3月の1年間）

一人当たり年額 600,000円

総額 7,640,000円

・広告募集奨学生採用に係る費用 56,646円

（2）奨学生の選定

奨学生募集につきホームページで募集をしました。2名の大学生から応募があり、そのうちの1名については大学4年間奨学金を支給していた北海道大学工学部の学生、もう1名はお茶の水女子大学理学部の学生でした。北海道大学工学部の学生については、理事・監事会の審議の結果、採用となり、お茶の水女子大学理学部の学生については、大湊興業株式会社にて面接を行った結果、採用となりました。

公益目的事業2 地域開発事業

- ・むつ下北まちづくりフォーラム パンフレット・ポスター作成 160,920円
- ・下北原子力勉強会設立記念講演ポスター デザイン作成 77,196円
- ・青森県立美術館サポートシップ倶楽部支援 300,864円
- ・月刊コロンプス等雑誌、本購入による地域おこし等啓蒙事業 175,776円
- ・広告募集等に係る費用 16,470円

公益目的事業3 自然保護事業

- ・海岸整備事業「平成28年度赤川海岸整備事業」
実施団体 NPO法人GEMBU 支援助成金 318,123円
- ・広告募集等に係る費用 16,470円

3. 管理部門（本部会計）の報告

理事会

- ①第18回理事会 平成28年5月16日
 - 第1号議案 平成27年度事業報告及び附属明細書の承認の件
 - 第2号議案 平成27年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件
 - 第3号議案 原子力を学ぶ学生や研究者に対する支援の件
 - 第4号議案 評議員会開催の件
 - 第5号議案 その他

- ②第 19 回理事会 平成 28 年 5 月 31 日
議案 代表理事選任の件
- ③第 20 回理事会 平成 28 年 9 月 2 日
第 1 号議案 平成 28 年 4 月から 8 月までの事業報告
第 2 号議案 奨学金制度変更の件
現在の奨学金制度を改め、奨学金対象者を「一般大学生・
大学院生」から「原子力を学ぶ学生・研究者」に変更す
る旨についての決議
第 3 号議案 その他
- ④第 21 回理事会 平成 29 年 2 月 2 日
第 1 号報告 平成 28 年 9 月から平成 29 年 1 月までの代表理事
職務執行の報告
第 2 号報告 平成 28 年 9 月から平成 29 年 1 月までの事業報告
第 1 号議案 奨学生申込者について
第 2 号議案 助成金交付の可否の件
NPO 法人 G E M B U
「ふるさとの森植樹祭 in 風間浦中学校
創立 30 周年記念植樹」
第 5 号議案 その他
- ⑤第 22 回理事会 平成 29 年 3 月 17 日
第 1 号議案 平成 29 年度事業計画の件
第 2 号議案 平成 29 年度予算案の件
第 3 号議案 平成 29 年度奨学生の件
第 4 号議案 その他

評議員会

- 第 5 回評議員会 平成 28 年 5 月 31 日
第 1 号議案 平成 27 年度事業報告及び附属明細書の承認の件
第 2 号議案 平成 27 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計
算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件
第 3 号議案 原子力を学ぶ学生や研究者に対する支援の件
第 4 号議案 任期満了に伴う役員改選の件
第 5 号議案 その他